

読み
仮名
あり
↓
↓
行数

【第6章】現代日本の暮らしと文化

2. 米からコメへ-日本社会のなかの米- (p. 152)				
2	*	灌漑	かんがい	農作物の生育に必要な水を、水路を引くなどして供給し、耕作地をうるおすこと。
3	*	急峻	きゅうしゅん	傾斜が急で険しいこと（さま）。
3	*	棚田	たなだ	山地などの傾斜地に、階段状に作った狭い水田。千枚田。
3	*	営む	いとなむ	①生活のための仕事をする。経営する。②忙しく物事をする。怠ることなく励む。
5	*	口承	こうしょう	人々の口から口へと語り伝えること。
9	*	藁	わら	稲・麦などの茎を干したもの。
13		金納	きんのう	税・小作料などを金銭で納めること。
13	*	地租	ちそ	土地に対して課せられる租税。
17	*	地主	じぬし	土地の持ち主。
18	*	粟	あわ	イネ科の一年草。五穀の一つで、古くから栽培され、粟飯・粟餅などにして食べ、また飴（あめ）・酒の原料、小鳥の飼料にする。
18	*	稗	ひえ	イネ科の一年草。実を食用や鳥の飼料などにする。
20		干拓	かんたく	海岸・河口・湖沼などを堤防で仕切り、内部の水を排除して陸地にすること。
26	*	減反	げんたん	作付面積を減らすこと。特に米の過剰生産対策として行われる生産調整策。
26	*	作付面積	さくつけめんせき	田畑で作物を実際に植えている面積のこと。
28	*	衝撃	しょうげき	①思いがけない出来事によって起こる心の激しい動き。②激しく突き当たること。また、それによって起こる刺激。
28	*	奨励	しょうらい	ある事柄を、良いこととして、それをするように人に強く勧めること。
44	*	声高	こわだか	声を高くはりあげるさま。声が大ききさま。
44	*	拍車をかける	はくしゃ-をかける	物事の進行を一段と速める。
47		聖域	せいいき	①それに触れてはならないとされている問題や領域。②神聖な地域。神社・寺院の境内、神が宿るとされる所など。
51		揺らぎ	ゆらぎ	①ゆらぐこと。動揺すること。②物事の基盤が不安定となり、危うくなること。
51		根底	こんてい	物事や考え方を成り立たせる土台になっているもの。基礎。根本。
57		コンセンサス		意見の一致。合意。